

平成 25 年度日本海ソデイカ(あかいか)漁況情報(中短期予報)

\* 但馬地域の沿岸漁業にとって重要な対象種となっている「ソデイカ(あかいか)」について、現況と中短期的な漁況予報をお知らせします。操業の参考になれば幸いです。

現況と見通し(予報対象期間:平成 25 年 10~11 月)

【現況(～9月末まで)】

- ・漁況指標値(香住本所の 1 日 1 隻あたり漁獲量)は、9 月以降 260kg 以上で推移。
- ・漁獲物のサイズは、9 月下旬時点で胴長 60cm(体重 8kg)前後のものが主体。
- ・9 月下旬から、小型サイズ(9 月末で 40cm 台以下)の割合が増大。

【今後の漁況予報】

- ・現在は、胴長 60cm 前後のサイズが漁獲の主体で、今後だいに小型サイズ(9 月末で胴長が 40cm 台以下)が成長しながら漁獲の主体となる。
- ・山陰・若狭沖の冷水域の張り出しは弱いですが、但馬沖に小規模な冷水域が形成され、ソデイカの漁場形成に影響を及ぼす可能性がある。

\*日本海西部海域の海況予測には、(独)水産総合研究センター日本海区水産研究所の日本海海況予測システム(JADE)を利用しました。(http://jade.dc.affrc.go.jp/jade/)

1. 漁況の推移 (図1)

漁況の指標としている JF 但馬漁協香住本所の 1 日 1 隻あたりの漁獲量(旬別平均値)は、8 月下旬が 165kg、9 月以降は 260kg 以上で推移しています。今漁期は、今のところ好漁であった前年を上回る漁模様となっています。

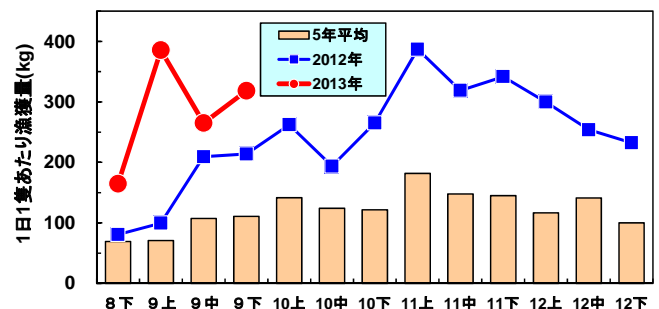


図1 旬別1日1隻あたり漁獲量の推移(JF但馬香住本所)

2. 漁獲物組成の推移 (図2)

但馬漁協香住本所での市場調査の結果、漁期開始時(8月下旬)に最も漁獲されているサイズは、40cm 台(体重 3~4kg 前後)でした。それが成長に伴い、9月上旬には 50cm 台前半(5~6kg)、9月下旬には 60cm 前後(8kg 前後)となっています。

また、9月下旬頃から別の小型サイズ(40cm 台以下)の加入が明瞭になってきました。

現在は、胴長 60cm 前後の群が漁獲の主体ですが、これから徐々に小型の群れが成長しながら漁獲の主体となっていくと考えられます。

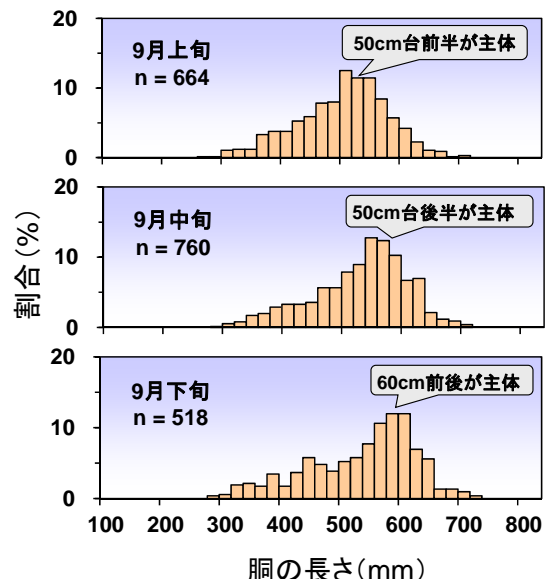


図2 漁獲物の体長組成

### 3. 漁場環境の推移 (図3)

これまでの調査により、好漁場は水深 50m の水温が 19°C以上、水深 100m の水温が 14~15°C以上の海域に形成されることが分かっています。また、この時期の山陰沖漁場の水温は、季節的な変動よりも沖合部に出現する冷水域の動きに大きく影響されます。

今漁期の 100m 深の水温の変化を「日本海海況予測システム」により予測しました(右図)。太い赤線で示した水温 15°Cよりも水温の高い海域が「好漁場」となる可能性のある海域です。今年は、漁期を通して山陰・若狭沖の冷水域の張り出し(南下)はかなり弱いものの、但馬沖にはそれとは別の小規模な冷水域が漁期を通して存在し、それが今漁期の漁場形成に影響を及ぼすことが考えられます。

9月下旬の山陰沖では、隠岐諸島東部と若狭湾沖に小規模な冷水域が存在し、但馬沖では 100m 深で水温 15°C の等温線が東部海域ほど沿岸近くまで南下していました。しかしこれまでのところ、この小規模冷水域はソデイカの漁場形成に大きな影響を及ぼしていないと考えられます。

10月中旬には 15°C の等温線がやや北上すると予測されます。また 11月上旬には、山陰沖合の広範な海域で水温が 15°C以上となるものの、但馬沖には依然として小規模な冷水域が形成されると予測されます。

この但馬沖の小規模な冷水域の影響が強ければ、ソデイカの漁場はそれよりも南側で形成されると考えられます。一方で、この冷水域の影響が小さい場合は、漁場は沖合のかなり広範な海域に拡散するでしょう。

また、冷水域や暖水域の影響により、海域によっては海流の向きに大きな変化(速い逆潮等)が生じる場合がありますので、作業時にはご注意ください。海流の予報については、当センターが発表している「海の天気図」(毎週 1 回)や「但馬水産技術センターだより (海況情報)」(月 1 回)もご参照下さい。

### 4. その他

日本海区水産研究所の日本海漁況予報(2013年 10~12月)では、対馬暖流域の表面および 50m 深の水温は、いずれも「やや高め」で推移すると予測されています。

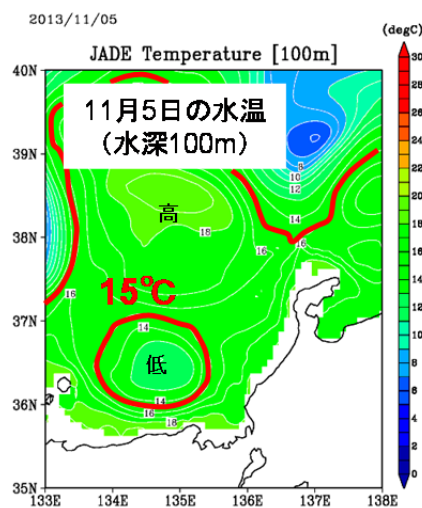
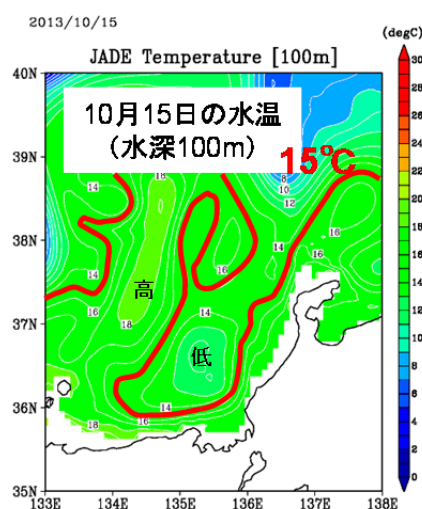
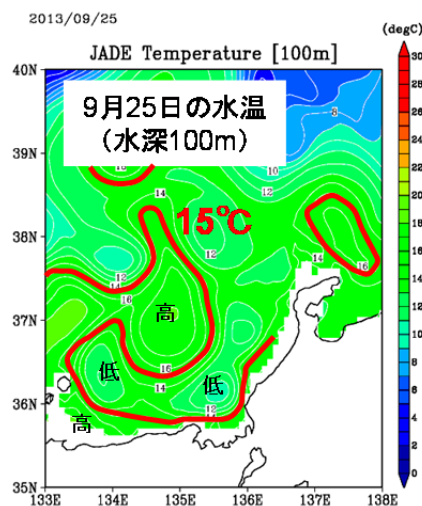


図3 水深 100m の水温分布予測 (太線=水温 15°Cの等温線)